

[トゥルース]

Truth

VOL.10

富山のスポーツの
真実を伝える

2017 夏号
Tスポとやま
¥0 Takefree

富山初のスポーツマガジン



声援を力に 戦う決意

スポーツクラブ
BIG
スポーツ振興くじ助成事業

© TOYAMA GROUSES

ほおぼる幸せ。



ほおぼる幸せ。
富山米



Truth

【トゥルース】
VOL. 10 富山のスポーツの真実を伝える
夏号

ホームページもご覧ください!!

GO YAMAMOTO

MEGUMI / HARUKA
TACHIMOTO

YUKI IKEGAMI NANAKO KANETO

TOYAMASPORTS
THREE TEAM

TOYAMA
SPORTS
MESSAGE BOARD

SPECIAL FEATURES

02 富山から平昌五輪を目指す
ノルディック複合・山元豪
「まず出場、そしてメダルを！」

04 射水で全日本実業柔道団体対抗大会
柔道・田知本愛、遥姉妹
それぞれの今後の柔道人生語る

06 マラソン・池神悠希
「応援されて走るのは楽しい」

07 特別寄稿・金戸奈菜子さん
アイスホッケーの本場・カナダから

08 富山のプロチーム3球団のリアル情報
野球
富山GRNサンダーバース
河田直人がNPBへかける思い

10 サッカー
カターレ富山
リーグ前期2位、昇格へ期待高まる

12 バスケットボール&ハンドボール
富山グラウジーズ×アランマーレ
水戸健史×横嶋かおる
「富山のアリーナを熱く！」

14 富山のスポーツ伝言板
車椅子バドミントンとは？/プロ野球選手トレーナーが無料で助言
※皆様からの耳寄り情報お待ちしております！

(表紙の写真は横嶋かおる選手が金森正見撮影、水戸健史選手は富山グラウジーズ提供)



爽やかに、コク深く 新アイスコーヒー

- コロンビア豆新採用**
甘い香りと柔らかなコクを引き出す。
- グアテマラ豆10%アップ** ※当社、従来品比。
高地栽培の寒暖差が産み出す華やかな香りをプラス。
- 豊かなコクのブラジル豆**
ブラジル最高等級豆使用。果肉とともに乾燥、深いコクを。

アイスコーヒー ICED COFFEE
◎93円(税100円) ◎167円(税180円)

県内のファミリーマートで「Truth」を配布いただいています！

「Truth」の配布にご協力いただいている店舗・事業所などは次の通りです

あおき接骨院、KHEIR(ケイル)、スポーツドームエアーズ、ボンジュールSAKATA二口店、ボンジュールSAKATA富山駅前店、いっぽ堂、スポーツショップランナー、ノン・ビリィ、山内武道具店、カフェ ジャックラビット スリムス、アピアスポーツクラブ、西能病院、JSS富山インドアテニススクール、うな富、ビッグエッグ、ベースボールハウスMVP、すき焼 はやし、バイエルンスポーツ、(有)栄寿し、居酒屋酔虎伝、松長接骨院、竹接骨院、奥田接骨院、原接骨院、ヘアサロンみずほ、いなみ木彫りの里 創遊館(道の駅 井波)、ねむり家、MUSCLE GYM TOKYO富山店、娘餃子、ステーキ すず屋、高岡ワイン倶楽部、LIXILリフォームショップ ユニテ、Mag Haus、カフェ ゴッコ、ハウディーキオスクマーケット1931、ゴールドカレー富山豊田店、curry&bar nine、遊さん、万里摩理(マリーマリー)、Trattria La Luce、浅川接骨院、寿司正、柘カフェ、おき接骨院、村上接骨院、ヤマヒデホーム (順不同)

このほか、富山県内のスポーツ・文化施設、公共の窓口、スポーツ団体の事務局、総合型地域スポーツクラブの事務局などで配布いただいています。NPO法人Tスポとやまは、「Truth」の配布にご協力いただける事業所・店舗などを随時、募集しております。

弾けるアイデア
固まる信頼

ゆるみ止め加工されたネジ、ボルトは
こんなところにも使われています

NISSEI TECHNICA
株式会社 ニッセイテクニカ
www.nissei-tc.com

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営
TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com
ホームページ:http://tspotoyama.com/ Facebook:https://www.facebook.com/tspo.truth

富山発のスポーツメディア
Truth



ノルディック複合・山元 豪(ダイチ)

富山から平昌へ まず出場、そしてメダル狙う

ノルディック複合の山元豪選手が今春からダイチ(富山市)の所属となった。「富山の企業に所属して国際舞台で戦いたい」という願いがかなっての入社だ。スピードスケートの選手と合同で練習する機会を得て刺激を受け、心・技・体を鍛えている。目標は来年2月に韓国で開催される平昌五輪への出場と、メダル獲得である。五輪シーズンに向けての意気込みを聞いた。

競技写真 父の山元泰正さん提供
文・写真 若林 朋子

■スケートの選手と練習
—— 社会人になると1人で練習内容を考え、実践していかねばなりません。一方で、チームや競技を越えた交流も生まれます。大変さと、面白さ、両方あるのではないのでしょうか？

「拠点をごに置き、何をどのくらいするのか？ また、事務的なことをすべて自分の手でやらねばならないということも大変です。『早大では仲間に恵まれていたな』と今になって思います。」

4月10日から18日までは熊本県水保市でダイチ、日本電産サンキョーのスピードスケートの選手に交じって合宿に参加しました。スキーとは、「滑る」という共通項があり、似ていると思いました。

練習はハードでした。刺激を受けました。自転車を使ったトレーニングではついていけませんでしたが、「限界値が違う」と思いましたね。スピードスケートの選手は体力のベースが高いという印象です。これまでも自分を追い込んできたつもりだったけれど、「その上」を知った思いでした」

—— 長野五輪金メダリストの清水宏保さんなどは、倒れるまで練習をしている様子が報道されていました。スピードスケートの練習は過酷だというイメージがあります。

「スケートの選手は限界を超えたところまで追い込んでいる。練習ではあえて『できない量』を設定しているのです。コーチが手を抜くのを許さない。休ませてもらえませんでした。『だから強くなるんだなあ……』と分かりました。」

山元選手が富山から世界へ羽ばたくことを応援してくれているのでは？

「父はアルペンとクロスカントリー両方の競技経験があるスキーの指導者です。兄はあと一歩でソチ五輪に行けるところまで頑張りましたが及ばず、引退しました。今、良き相談相手です。練習や合宿で精神的に煮詰まったら連絡します。」

兄も1人で地元企業に所属し、五輪を目指していた時期がある。技術的な部分はもちろん、強化費をどうやりくりするか、どこで誰と一緒に練習するかなど、手探りで頑張っていたので、知恵と情報を持っています」

—— 平昌五輪に向けての意気込みをお聞かせください。
「まず、五輪に出ること。そしてメダルを獲ることが目標です。現時点で海外のトップクラスの選手との差は大きいと思いますが、シーズンまでの取り組み次第では結果を出すことが可能だと思います。平昌は日本と雪質が似ているので、期待してください」



山元選手が平昌五輪に出場するまでの道のりは、次の通り。12月のコンチネンタルカップの結果により、ワールドカップ(W杯)出場が決まる。五輪出場は、W杯で15位以内3回、12位以内2回、8位以内に入賞できれば発決定する。得意なジャンプで好位置につけ、逃げ切ることができるか？ シーズンインが待ち遠しい。

正のポイントを聞きます。
1本目と2本目の間は自分の力で修正し、2本飛んでから客観的な評価を聞くのです。その後、3、4、5本で修正を繰り返しても、瞬間に全部に意識を巡らせることは不可能です。気を付けるのは1点だけ。意識するのは「あごをちよと引く」などといった、ごく小さなポイントです」

■キング・オブ・スキー

—— クロスカントリースキーは、どのように取り組んでいますか？
「急には成長できない種目です。積み重ねが必要ですが、ただ頑張るだけでは結果が出ない。『頭を使って練習する』ということを心掛けてきました。コンパインの選手は一般的にそういう傾向があります。しかし、スピードスケートの選手と練習してみても、『ひたすら頑張るということも必要では？』と考えるようになりました。今季のテーマは『がむしゃらに』です」

—— 競技の面白さや魅力をどのように考えていますか？
「ノルディック複合は、言い方を変えれば『どっちつかず』なんです。ジャンプだけをやっている選手には勝てないし、クロスカントリーだけの選手にも勝てない。しかし、双方を楽しめる欲張りなスポーツです。」

何といたっても、ノルディック複合の魅力は後半のクロスカントリーです。レースのほとんどは、ラストパートで決まります。後半はジャンプの結果はもちろん、スキーのワックスや、コースのレイア

的を外れた根性論はいけません。『時には根性論が必要だ』と感じました。考えながら練習することは大切ですが、がむしゃらな時期もあっていい。自分を伸ばしていく方法の正解はない。だから『この時期はこうする』と自分で方向性を決め、時々振り返って軌道修正するので

■ジャンプは5本に絞って集中

—— 複合は、ジャンプとクロスカントリーで順位を競います。瞬発力と持久力という全く違う身体能力を必要とされますし、取り組む心境も違うように感じます。
「ジャンプの練習では、1日何十本も飛ぶ選手もいますが、自分は5本だけ。多くても7本です。5本で集中が切れてしまうからです。飛んで、またジャンプ台に上がって……ということを繰り返している、1本あたり15分はかかります。だから5本なら合計約1時間15分ですね。大学の講義は1時間半でしょう？ 最後に集中力が切れたり、最初に集中しにくかったりする時間を考え、ちょうどいい練習量だと思います」

—— 5本をどんな心構えで飛んでいくのですか？
「試合のつもりで飛びます。特に最初の1本目を大切に。アップして、着替えて、準備をして……」

試合と同じルーティーンで臨みます。続いて2本目は自分のなかで修正点を考えながら飛ぶ。その後、無線でコーチと話し、修



やまもと・ごう 1995年1月27日生まれ、富山市出身。幼少期からスキーを始めて小見小3年時から競技としてノルディック複合に取り組む。上滝中、雄山高、早大を経て2017年春にダイチへ。早大4年生の昨シーズン、男子はインカレで6年ぶりの総合優勝。国体は2015、16と連覇。17年ユニバーシアードで主将を務め、団体銀メダルに貢献。175センチ、65キロ。



ウト、集団のスピードなど、毎回変化する環境をコントロールし、その中で自分のパフォーマンスを最大限発揮する。そうすることで体力を温存でき、後半のパートを制することができると見ていると地味なスポーツかもしれないですが、本当はとても繊細で過酷なスポーツです。
また、ジャンプは実力だけでなく、風の方向や強さ、雪などの気象条件で変わりますから、運に結果が左右されることもある。自分のパフォーマンスを最大限発揮し続けられることができれば、必ずチャンスが巡ってくる。逆転の機会は誰にでもあるのです。
選手は『どういう状況にも対応しなければいけない』という思いで戦っています。スキーのいろんな試練も受けながら勝利を目指す。だからノルディック複合の勝者は『キング・オブ・スキー』と言われるのです」

■兄・駿は良き相談相手

—— 富山の企業に入社し、国際舞台を目指そうと思った理由は何？
「就職は地元企業に」と思っていました。国際舞台での経験を、富山の選手に教えたいと思います。ただ、今季は練習に集中できる環境を求め、5月に拠点を長野県白馬村に移しました。JOCの強化拠点です。長野五輪で使われたジャンプ台など、トレーニング環境がそろっています」

—— 父・泰正さんや兄・駿さんもスキーに長く携わり、富山のスキー界を引っ張ってきた存在で

リオ五輪・柔道金メダリスト

田知本 遥

リオデジャネイロ五輪・柔道女子70キログ級で金メダルを獲得した田知本遥選手(ALSOK)は、6月上旬に故郷の射水市で開催された第67回全日本実業柔道団体対抗大会で実戦復帰を果たした。姉の愛選手(同)と団体戦に臨み、2部優勝に輝いた。会場では小杉中、小杉高柔道部時代の恩師や、県内の柔道関係者が再出発を見守った。同大会を終え、愛・遥姉妹は、それぞれの今後の柔道人生について語った。



たちもと・はるか 1990年、射水市(旧小杉町)生まれ。小杉少年柔道クラブで小学2年時から柔道を始め、小杉中、小杉高、東海大を経て2013年4月にALSOK入り。身長167センチ。16年リオ五輪で金メダル獲得、12年ロンドン五輪7位。グランドスラム・パリ15年優勝、16年準優勝、同・チュメニ15年優勝。全日本選抜体重別選手権は15、16年優勝(階級はすべて70キログ級)。

文・写真 若林 朋子

大学院進学と故郷での復帰戦が新しい自分の糧に

■試合で得るもの

「田知本遥選手はリオ五輪の後、どんな思いで過ごしたのですか? あらためて、金メダルの意義を教えてください。」
「リオ五輪までは『死んでもいい』と思うほど柔道に打ち込んできたので、新しい目標を見つける必要がありました。10カ月弱の休養の間、金メダルの重さを実感し、『これからはこれに恥じない過ごし方をしなければ』と思います。いいことも悪いことも、すべての過程が大事でしたし、最後まで自分を信じてやり遂げたからこそ金メダルを獲得できたと思います。」

第67回全日本実業柔道団体対抗大会で実戦に復帰されました。チームは2部で優勝。さすがの戦いぶりでした。

「チームが2部優勝を果たし、ホッとしました。試合が久しぶり過ぎて、最初は体と気持ちがずれていると感じました。しかし、最後はいい形で勝つことができました。実戦に戻って気づいたのは『試合でこそ得るものがある』という点。10回練習するより試合で体得できるものがある。緊張感やスリルは柔道の魅力でもあります。」

■柔道は奥が深い

「射水市で大会が開催されたことは、不思議な縁ですね。観客は遥選手から『原点に戻って再スタートする』という気構えを感じ取りました。」

「恩師やお世話になった方々、小杉高校の後輩、地元の子どもたちなどから声を掛けていただき、

ていません。それを考えるために大学院で勉強しています。」

漠然と思っているのは『大きな視点に立つて柔道の普及につながる活動をしていきたい』ということ。私は柔道を通じてさまざまな経験を積み、成長させてもらいました。私と同じように柔道に取り組む人が増えてほしいのです。」

■応援に感謝

「愛・遥姉妹の試合では多くの声援が送られました。『柔道を通じて、たくさんの人に支えられている実感を得てきました。活躍することができれば多くの人が喜んでくれましたし、きつと思ったときには多くの人が励ましてくれました。柔道をしていなければ気づかなかったことがたくさんあります。」



たちもと・めぐみ 1989年、射水市(旧小杉町)生まれ。小杉少年柔道クラブで小学3年時から柔道を始め、小杉中、小杉高、東海大を経て2011年4月にALSOK入り。身長168センチ。15年世界選手権準優勝、13、14年同選手権3位。16年グランドスラム・パリで優勝、14年同・デュッセルドルフで優勝(以上階級はすべて78キログ級)。無差別で行われる全日本女子選手権で15年優勝、13、14、16年と準優勝。

田知本 愛

将来は大きな視点に立ち、普及活動を



状に甘んじること無く柔道ファンを増大させることを考えていかなばなりません」

「復帰戦を通じて故郷への思い、愛選手との絆などを再確認できたのではないのでしょうか?」

「全日本実業柔道団体対抗大会に参加し、団体戦ならではの面白さを思い出しました。自分が不調でもほかのメンバーが挽回してくれる。4月から始まった大学院での学生生活と、故郷での実戦復帰が自分の新しい糧になってくれていると確信しています」

■目標を持って

「大会会場には愛選手の母校である小杉高校柔道部の関係者なども多く、後輩もたくさんいました。メッセージをお願いしました。」

「高校時代は、3年時に全国高校総体で優勝したことが一番の思い出です。中学時代から全国制覇を目指していましたが、小杉中に在学している間はできませんでした。強く思い続けたことが結果につながりました。」

高校時代は柔道一色でしたが、悔いはありません。成長した自分が、あえて高校時代の自分に声を掛けるとすれば、『二つの練習の意味をもっと理解してやっていたら、結果は違ってくるよ』と言いたいです。

後輩には、目標を持って頑張ってもらいたい。東京で世界選手権が開催されて以降、色紙などにサインを求められると『克己』と書いています。私は調子に波があるの、相手と戦う前に自分との戦いがありますから」

■柔道の意義を考え直す

「愛選手も4月から筑波大学院で学んでいるとか。どんな目標をお持ちなのでしょう?」
「競技に関する知識を深めることはもちろんためになるのですが、それ以外にも得るものはたくさんあります。大会をどうマネージメントするかは、興味深いです。自分の人生で柔道をやらせていただいた意義を考え直す機会になっています。」

将来はいろいろ考えられると思いますが、まだ具体的には定まら

MEGUMI HARUKA

自分の中に特別な思いが湧き上がるのを感じ取ることができました。」

姉と一緒に出場できる団体戦だったことも復帰戦の決め手となりました。リオ五輪の直後、姉からは『実業団と一緒に出場しよう』と言われました。練習ではダメなところをどんどん指摘してくれましたので、心強かったです」

「試合内容は『さすが』という印象です。技のキレ、試合運びとも別格。金メダリストの貫禄を感じました。」
「ブランクを経ての試合では当然ながら、五輪の時のギャンプを感じました。練習はしてきましかけれど、心技体のレベルはダウンしています。『落ちるのは本当に早い』と分かりました。しばらく時間をおいてあらためて柔道と向き合い、『簡単には勝てない世界なのだ』と知りました。柔道は奥深いです」

■ファン増大を

「この春から筑波大学院で学んでいるとのこと。競技者としての道を深く究めるとともに、指導者になるための修業を積んでおられるのでしょうか?」
「筑波大学院人間総合科学研究所では姉と机を並べて勉強しています。社会人留学という形での進学であり、送り出してくれたことに感謝しています。マネージメントを学んでいます。」

「どうしたら柔道をもっと普及させることができるのでしょうか? 大会には選手の家族などは応援に来ていますが、一般の方も観戦に来ていただきたい。現

ご家族や事務所の安全安心のために
365日、24時間、見守り続けます

ALSOK
富山県総合警備保障
☎076-443-5888
〒930-0873 富山市金屋2715-10
http://www.toyama-alsok.co.jp/

応援されて走るの楽しい

マラソン・池神 (ダイシンプラント建設)



2016年の富山マラソンで、ダイシンプラント建設(富山市)に所属する池神悠希選手が初マラソンながら女子で2位に入った。東京都東村山市出身の池神選手は高校・大学時代、駅伝などに取り組んでいたが無名のまま。卒業後も競技を続けたいと思っていたところ、富山県の企業チームから声が掛かり、2016年4月に富山市へ移り住んだ。チームの監督として池神選手の指導に当たるのは、富山商高時代に2度、全国高校駅伝に出場した西野正憲さん。声優や舞台俳優を目指して上京、20代の終わりに大けがを負って夢にひと区切りつけ、Uターンした異色の経歴の持ち主だ。「夢を追う」とはどういうことなのか? それぞれの思いを聞いてみた。

池上 高校3年時、大学女子駅伝をテレビで見えて感動しました。東日本大震災が起こった2011年の大会です。仙台市内を走る選手の姿は被災者へ勇気を与えたと思います。私も胸に期するものがありました。そこで北京五輪の女子5000メートル、1万メートル代表だった赤羽有紀子さんを輩出した城西大へ進みました。大学1、2年生のころは貧血やケガから満足な練習ができず、マネジャーへの転身を勧められたことも。しかし3年生の夏からトラック種目で結果が出るようにな

り、大学女子駅伝や富士山女子駅伝などに出場しました。とはいえ、首都圏の実業団チームに入るには実力が足りません。一般企業を対象に就職活動をしました。あきらめていたところ、ゼミの先生から「富山県内にある企業が女子選手を探している」と聞き、ダイシンプラント建設でお世話になることに。実業団入りに「まだ走るの?」「無理だろて……」という人もいました。でも「やってみたい」と思ったのです。子どものころは、ぼーっとして「ネクラ」といわれていたんですが、中学3年時、校内の1000メートル走で優勝して歴代記録を塗り替えたことをきっかけに高校入学後、陸上競技を始めました。私の人生は、走ることで自信を得てきたのです。

社会人1年目は、まだ歯車がうまくかみ合っていない感じがすね。今、股関節痛を改善するためフォーム矯正中です。慣れない独り暮らしから貧血になり、自分でレバーを調理して食べています。卵、納豆などたんぱく質も意識して摂取するようになりました。自分が走ることで会社のPRにつながればと思います。応援されて走るの楽しい。期待に応えようと頑張ることが好きなのだと思えます。今季は富山マラソンの優勝と全日本実業団選手権で自己ベストを出すことが目標です。都道府県対抗駅伝でも結果を出したいと思えます。

いけがみ・ゆうき 1993年6月29日生まれ、東京都出身。都立田無高、城西大卒。高校時代は2年時の関東新人大会で女子1500メートル4位が最高で、自己ベストは800メートル2分17秒、1500メートル4分38秒。大学時代は駅伝を中心に取り組み、5000メートルの自己ベストは16分44秒、166センチ、44キロ。



バンクーバー五輪 観戦がきっかけ

私は、富山市出身で現在、アイスホッケーの盛んな街、カナダ・トロントに住んでいます。カナダでは、アイスホッケーを専門に教えるアカデミーで、カナダの子どもたちに指導をしながら、日々勉強の毎日を送っています。

小学2年生の時に始めたアイスホッケー。陸上を走るのは違うスピード感や楽しさ、活発な性格もあって、気付いたらアイスホッケーが好きになりました。小、中、高と、富山イーグルス、女子社会人チーム富山エルクスでプレー。富山大時代にバンクーバー五輪を観戦したことで、アイスホッケーを国技とするカナダに憧れました。本場のアイスホッケーに触れて、どこまで自分ができるのかとにかく挑戦してみ、自分の中で納得してから次のことを考えて、自分のなかで思い、大学卒業後、カナダへ留学しました。

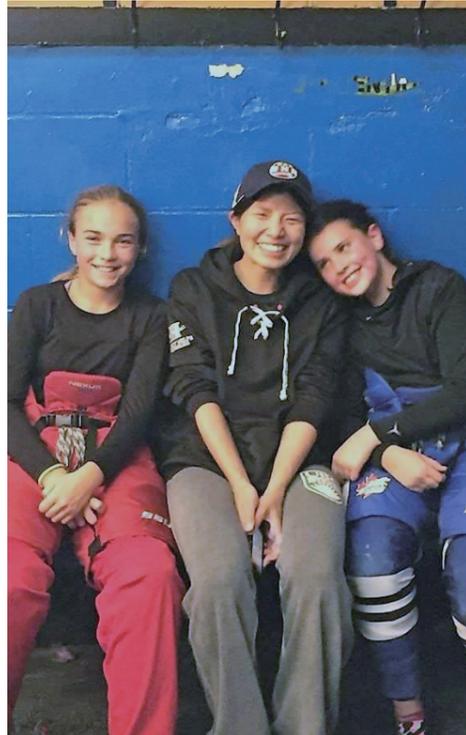
スタジアムには 楽しませる工夫

カナダは、バンクーバーとトロントで現地の社会人チームに入り、試合や練習に参加しました。スケートリンクが街のあちこちにあり、日本の野球と同じくらい人気があります。いたる所でホッケーに関連した広告なども見かけます。

スポーツは世代を超えて共有できる思い出

アイスホッケーの本場・カナダから

特別寄稿 金戸 奈菜子(文・写真)



かねと・ななこ 1989年5月13日生まれ、富山市出身。県内のアイスホッケーのクラブチーム「富山エルクス」でプレーし、富山大を卒業後、カナダへ留学。現在はカナダ・トロント在住。現地の子どもにアイスホッケーを指導しながら、コーチングなどを学ぶ。

そういった環境や、アイスホッケーが人気のあるスポーツだという違いのほかに、印象的だったのは、子どもはもちろん、大人もたくさん時間をスポーツに費やし、楽しんでるということです。それは、日本のスポーツにおける「根性」や「努力」とはイメージが異なります。スタジアムやアリーナには、スポーツを通して人を楽しませる工夫がなされています。会場には、これから始まる試合の期待感、楽しい雰囲気があり、初めて見に来た私に伝わってきて、とてもワクワクしました。

チームが子どもへ 道具を寄付

会場は、スポーツ観戦をする場所であると同時に、人が集う空間としての役割も果たしています。特に、トロントのアイスホッケーチーム「メープルリーフス」は、100年以上の歴史があります。世代を超え、家族でひとつのスポーツチームが共通の話題となり、おじいちゃんから孫まで、アリーナに試合観戦に行つてリフレッシュを応援した思い出を共有することができます。



また、チームも、地元の子どもたちと触れ合うイベントや、まだホッケーをやったことのない子どもたちに道具を寄付するなど、ファンを巻き込んでアリーナに来てもらうための工夫をしています。

時間、場所、富山を 共有できるチーム

私はカナダのように富山にも、子どもからお年寄りまで、共有できる時間、場所、思いをのせたチームがたくさんあればいいと思います。「スポーツは家族、地域のエンターテイメントになる」。そうなるためのメッセージを、これからもカナダから発信したいと思っています。

富山に吉田沙保里選手がやってくる!

Tスポとやま設立2周年記念講演会・県生涯スポーツ協議会指導者研修会

講演会「オリンピックから学んだもの」

講師: 栄和人(至学館大学レスリング部監督)

吉田沙保里(世界選手権と五輪を合わせて16回連続優勝)



主催: 県生涯スポーツ協議会・共催: NPO法人Tスポとやま・特別協賛: ニッセイテクニカ
日時: 2017年11月18日(土) 午前10時半~同11時半/場所: 富山電気ビルディング4F
中研修室/定員は120人で、入場無料。申し込みは県生涯スポーツ協議会(TEL: 076-431-2088)まで。

「思いの強さを持って」

西野監督 富山市山室中では中野誠治監督、富山商高では山本正樹監督の指導を受けました。20代は声優、劇団の俳優、裏方など芸能活動を続ける一方、運送業や人材派遣業などの職種を体験しました。2011年に富山市へUターンし、15年7月にダイシンプラント建設へ入社。陸上競技部の監督を務めています。富山商高OBで上司の石川英明専務が「学生時代、陸上競技に取り組んでいた人の受け皿に」と創部したのがうちの部です。10年以上も富山を離れ、走つてもいませんでしたが、陸上競技の縁によって新しい人生のスタートを切ることができました。

池神は明るい性格で、厳しく叱つても跳ね返してくるようなキャラクター。チームでは女子1人で頑張っている。マラソン向きだと思いますが、スピードはまだ十分ではありません。女性ランナーのピークは30歳前後なので、長い目で見ていきたいと思っています。

専門学校時代の同期で現在、声優として第一線で活躍している友人がいます。彼を見ていて思うのは、「夢をかなえる人は思いが強い」ということ。池神にも「思いの強さ」を持つてほしいです。



ダイシンプラント建設陸上競技部のメンバー。右から西野監督、池神選手

NPB入りへかける思い

富山GRNサンダーバーズ 河田直人外野手

2017シーズン西地区の前期優勝を果たした富山GRNサンダーバーズ。3年ぶり3度目の前期優勝となった。開幕前から注目されていた外国人選手とともに、打撃成績で上位に食い込む活躍をみせているのが、河田直人外野手だ。

●新たな環境での挑戦

河田は今季、四国アイランドリーグの高知フアイトインゴドックスから移籍してきた。高知では4年過ごし、昨シーズンはキャプテンを務めていた。高知で中心選手として過ごしてきたが、「4年の経験で少しずつ独立リーグの慣れを生んでしまった」と思い、環境を変えて新たな気持ちで野球に取り組みみたいと富山へやってきた。今季1年における意気込みは特別な。

●低迷を筋トレで脱出

オフは実家のある岡山県内で筋力トレーニングを中心に、開幕に備えた。「高知の方にも成長した姿を見せる」。野球に強い決意で向き合っている。その甲斐があり、開幕から調子は良かった。しかし、試合が続くと思うように筋トレができない。86キロあった体重が二時、81キロまで落ちてしまった。再び筋トレと体幹を鍛えていくにつれコンディションが回復。85キロまで体重を戻すこともできた。一度調子を崩したものの、持ち直すことができた。

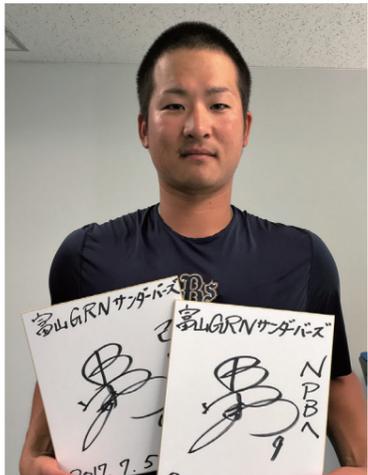
●「吉岡監督を胸上げできたことがうれしい」

食事は自炊派。料理をし、ゆつくり食べる。豆腐ハンバーグが得意料理だ。部屋での一人の時



河田直人外野手のサイン色紙 2名様にプレゼント!

富山GRNサンダーバーズ河田直人選手のサイン色紙を抽選で2名にプレゼントします。ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、Truthに対するご意見・感想を明記の上ご応募ください。締め切りは、9月末。応募先は下記の通り。



E-mail: nisennen@tspotoyama.com
(個人情報につきましては、商品の発送にのみ使用いたします)
なお、発表は商品の発送をもって替えさせていただきます。

間は、ゆつくり体を休めることに費やしている。また、動画でトレーニング方法を見つけ、自分に合っているか試してみる。吉岡雄二監督にも積極的に助言を求める。「監督は、すごく会話を大切にしてくれる」。

●吉岡監督

「あとは河田の頑張り次第」

では、吉岡監督の目に河田はどう映っているのか？ 吉岡監督が、愛媛のコーチを務めていた時期に河田が高知に入団してきた。バッティングに関しては、「能力がある」と感じ、目につく存在だったそうだ。4年間を経て、富山で一緒に戦っている今、監督は「もっと打てるはずだ」と二層の成長を求める。河田と話し合いながら、打ち方を少し変えるよう指導した。「あとは河田の頑張り次第」と期待を込める。

●後期も優勝を

シーズンが進むと、雨の影響で試合が中止になることもしばしば。終盤は過密スケジュールに

なる。「昨年9日間で10試合を経験している」と河田。体力には自信がある。セールポイント、広角に打てるバッティングと外野からの送球。「何回かはいい送球ができたんじゃないかな」。謙遜して「何回か」と言うが、何度もチームを窮地から救ってきた。

●目標は100安打、 4割、本塁打7本、失策0

「後期も優勝してアドバンテージを取りたい」Bリーグで優勝して、高知の方にも成長した姿を見せたい。「優勝して高知と対戦したい」。いくつもの思いが、河田の原動力となっている。具体的な数値目標は100安打、4割、本塁打7本、失策0。スカウトの目に留まるためには、数字を残すことが重要だ。「NPB入りを目指し、もう1年頑張り」と背中を押してくれた家族の言葉に応えたい。



NAOTO
KAWADA

かわだ・なおと 1992年4月15日生まれ、北海道出身。180センチ、85キロ。生光学園高(徳島)一愛知学院大学一高知ファイティングドッグス(2013~16)一富山GRNサンダーバーズ(2017~) 背番号9、外野手。



聞き手・文 土田 由香里
写真 富山GRNサンダーバーズ

「前期優勝、おめでとうございます。振り返ってみて、感想をお願いします。ファンやスポンサー様にはいい報告ができたことホッとします。ゴールデンウィークあたりから、うまく機能してきたと思います」

「外国人選手の獲得がいい結果につながりましたね」

「6人が外国人となり、雰囲気はどうなるかと思っていました。ジョニー(セリス)や(ジョシユ)コラレスら日本の野球チームで経験のある選手がおり、柔軟に対応してくれました。また、役割分担がしっかりできていたので、力を発揮してくれたと思います」

「コラレス選手が楽天に入団しました。新天地への飛躍に期待が集まります。大きな戦力ダウンではありませんが……」

「よかったです。選手たちとしてはいい刺激になっています。一緒に戦った仲間が契約を取る姿を目

「勝ちを目指し、皆が同じ方向に向かっている」

前期V 吉岡雄二監督に聞く



の前で見て、モチベーションが高まったと思います。コラレスがいなくなつてからは、ほかの選手がカバーしてやるべき仕事をやってくれたので、優勝を引き寄せることができました」

「後期はどんな思いで戦っていますか？ 選手たちの野球に取り組む姿勢についての期待をお願いします」

「勝ちを目指し、皆が同じ方向に向かっていると感じます。指揮をされていて、どんな姿を見せてくれるのか、期待感がある。後期は暑さと過密なスケジュールで大変ですが、8月の連戦を乗り切りたい。若い時だからこそ、がむしゃらに。1ランクも2ランクもアップしてくれたらと思います」

「前・後期優勝を目指して頑張ってください。ありがとうございます」

**MODEL HOUSE
NEW OPEN!!**
富山県高岡市赤祖父

見学予約受付中!

YAMAHIDE

(株) 山秀木材 ヤマヒデホーム
詳細はHPをご覧ください!
www.yamahidehome.co.jp



©KATALLER TOYAMA

第15節・北九州戦で先制点を挙げ喜ぶ選手たち。この試合でホーム5連勝を達成

好調持続 高まる期待

文 赤壁 逸朗
text&photo Itsurou Akakabe

カターレ富山はJ3リーグ前半戦の16試合を終えて2位につけた。攻守一体のアグレッシブなスタイルは力強さを感じさせ、J2復帰への期待が高まっている。



©2008KATALLER

NPO法人 Tスポとやま

【賛助会員】

企業・団体：[年会費] ¥10,000(税込) / 10
個人：[年会費] ¥3,000(税込) / 10

※賛助会員には「Truth」(年4回発行)を送付いたします。また、同誌に御芳名を掲載します。会員期限は入会日から2018年3月末までとします。

賛助会員募集

入会方法

申込書を記入いただき、年会費を銀行振込などでご入金ください。
◇振込先 北陸銀行 本店営業部 普通6071056 特定非営利活動法人 Tスポとやま / 富山銀行 本店営業部 普通3012357 特定非営利活動法人 Tスポとやま
※振込の場合は申込書を下記までFAXまたはメールでお送りください。ホームページからも申し込みいただけます。

◇FAX:0766-55-0009 ◇E-mail:nisennen@tspotoyama.com ◇問合わせ先 080-3461-5959(Tスポとやま事務局)

J3に降格して3年目の今季は開幕から3連勝して二時は首位にも立った。その後も着実に勝点を伸ばし通算9勝5分2敗で2位につけている。昨季までJ3の2位はJ2下位との入れ替え戦に勝たなければ昇格できなかったが、規定が変わり今季は2位に入れば自動的に昇格が決まる。このチャンスをつかみ取りJ2復帰を果たしたい。

好調の要因となっているのが守りの堅さ。前半戦16試合を終えた時点での総失点は9でリーグ最少。無失点が9試合(8勝1分)あり、こちらもリーグ最多だ。しかし、自陣で守りを固めて「とにかく失点しない」という守備的な戦術を採っているわけではない。

■アグレッシブな守り機能

新任の浮気哲郎監督のもと目指しているのは、あくまでも得点を奪いに行くアグレッシブなサッカー。ゴールに迫るために縦パスやクロスを取って多く入れていくのが基本姿勢だ。チャレンジが失敗して相手にボールを渡してしまう回数も多く、守りが、すぐに攻めから守りに切り替えてボールを奪い返しに行く。敵陣で奪うことができればゴールまでの距離も短く、攻撃の成功率も高まる。このような得点することから逆算した攻撃的な守備が、結果的に失点の少なさにつながっている。

本来は守備的MFの椎名伸志がトップ下で起用されているのは象徴的だ。持ち味である寄せの早さや運動量の豊富さを前線で発揮し、攻撃的な守りの先兵になっている。彼がトップ下で先発した6月3日の第11節・相模原戦から第16節・栃木戦まで、チームは4勝2分の好成績を残した。

攻守にわたり走り回らなければいけない、選手にとって体力的な負担が大きい戦いだが、FW若口卓也が「良い守備からこぼれ球を拾って得点チャンスがつくれていく」と話すように攻撃にも効果が表れている。全員が戦術を理解して献身的にプレーし、全員守備・全員攻撃を具

現化している。

浮気監督は選手時代に守備的MFやDFの位置でプレーした。「わたしは守りの選手だったが、受け身の守備は嫌いで、ボールを奪うのが喜びだった。それをできる限り高い位置で、やり続けたいという思いがある。高い位置からプレッシングするには後ろのカバーリングも大事になり、11人全員がハードワークしなければいけない」と言う。自身の経験とサッカー観をうまくチーム戦術に落とし込んでいるようだ。ボールを争奪する競り合いの場面にも監督の指導が反映されている。今季は球際の戦いで強さが目立ち、ゲーム運びの安定につながっている。「守る時に引くのか、前に出るのか。前に出る意識づけが球際にも生きてくる」と話している。

■切磋琢磨を原動力に

昇格実現のカギとして向上を図っている得点力については、前半戦16試合で総得点はリーグ5位タイの20。昨季は同じ16試合を終えて7勝4分5敗(暫定5位)で19得点・14失点だった。

攻撃に重点を置きトレーニングを続けているが、数字上は昨季と同水準にとどまっている。先取点を挙げた11試合は9勝2分。引き続き先取点を取ることが課題だ。高い位置でボールを奪って速攻を繰り返す、サイドチェンジで揺さぶりクロスを入れる、など攻撃パターンは確立されつつあり成果が待たれる。

今季のカターレは選手層が厚くなり、出場機会を巡る競争が激しい。これが組織の活性化と成長の原動力になると浮気監督は考えており、練習でのパフォーマンスを評価して若手を抜てきするなど競争を促進してきた。夏の補強でJ1・J2通算43得点のFW平繁龍二がJ2熊本から加わり、アタッカー陣のレギュラー争いはさらに激しくなる。監督は「選手全員が日々ハードなトレーニングをきちんとやってくれている。だからこそ、メンバーを思い切りよく、自信をもって選べるし、いろいろな(タイプの)選手をピッチに送り出せる。これを年間通して続けていきたい」と話す。

◇J3順位(前期・各16試合終了時点)

順位	開催日	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	秋田	37	11	4	1	30	11	19
2	富山	32	9	5	2	20	9	11
3	沼津	31	9	4	3	38	16	22
4	栃木	27	7	6	3	17	13	4
5	鹿児島	25	8	1	7	20	15	5
6	長野	25	6	7	3	14	10	4
7	琉球	25	6	7	3	21	18	3
8	北九州	24	7	3	6	21	15	6
9	藤枝	22	6	4	6	19	24	-5
10	福島	20	6	2	8	18	26	-8
11	相模原	19	4	7	5	13	16	-3
12	F東京23	19	5	4	7	16	20	-4
13	盛岡	15	3	6	7	15	21	-6
14	鳥取	14	3	5	8	17	29	-12
15	G大阪23	13	4	1	11	10	25	-15
16	C大阪23	12	2	6	8	17	25	-8
17	YS横浜	10	2	4	10	15	28	-13

※差:得失点差

■10月までのホームゲーム日程

19節	8月19日(土)	18:30	vs F東京23
22節	9月9日(土)	18:00	vs C大阪23
25節	10月1日(日)	13:00	vs 栃木
27節	10月15日(日)	13:00	vs 藤枝
28節	10月22日(日)	13:00	vs 盛岡

※時間は開始時刻。会場は県総合運動公園陸上競技場

カターレ案内板

■久保選手擁するF東京U-23と対決

8月19日に行われる後半戦最初のホームゲームでF東京U-23とぶつかる。注目を集める16歳の久保建英選手をはじめ才能豊かな若手がそろった強敵だ。花火の打ち上げやPK選手権など各種の催しも予定されている。

(問い合わせ)カターレ富山 電話076-461-5200



みと・たけし 1985年4月23日生まれ、32歳。南砺市出身。福野中、高岡商高、近畿大を経て2008年に富山グラウジーズに加入。昨季は58試合に出場し432得点。

富山グラウジーズの水戸健史選手、アランマーレの横嶋かおる選手は1985年生まれ同世代。ともに高岡市の高校に通っていたが対面するのは初めて。「富山のアーリーナスポーツを盛り上げるために何かが必要か」をテーマに、富山市総合体育館の「トヤマタウントレーニングサイト」で話を聞いた。

見市は。ハンドの街として認知されている。すごいなと思っただけ。富山でメジャーになるポテンシャルはあると思います。横嶋 ハンドはまだまだマイナー。日本リーグでも観客は千人ほど。アランマーレとして、これからの競技やチームのことが知ってもらって活動しなければいけないと思っています。

BASKETBALL and HANDBALL

つながら。注目されるのはありがたい半面、去年に負けが続いた時はつらかった。あまり外に出たくない気分でした。横嶋 どうやら5千人も集められますかね。北國銀行でプレーした当時には全勝で日本一にもなりましたが、アーリーナが観客でいっぱいになったのは日本代表の五輪予選以外に経験がありません。水戸 Bリーグ1部では、地域球団である栃木ブレックスの盛り上がり方が一番すごいと思っただけ。栃木と同じ旧NBLでも元実業団のクラブは、地域に密着してきた旧Bリーグのクラブに比べると熱狂的なファンは少ないと感じました。

■富山でもやれはできる
——グラウジーズは昨季のホーム最終戦で過去最多の5545人の観客を集めました。水戸 富山でもやれはできるんだと思っただけ。選手として「観客が」これだけ入ってくると恥ずかしい試合はできない」とも思っていました。富山市は県内でもバスケットが盛んなほうではなかったのに、グラウジーズのホームが富山市総合体育館になって人気が高まったような気がしますね。駅に近く、施設がきれいという要素も大きいと思います。女性ファンは増えた印象がありますね。やっぱり勝つことは大事で、結果がでるとメディアに取り上げられる機会も増えて集客に

■観客を魅了し楽しませるハイレベルなプレーに期待しています。水戸 魅せるプレーは技術がないとできません。堅実なプレーを心掛けていますが、少しずつそういうプレーもできたらよいですね。横嶋 アランマーレは平均年齢23歳の若いチームで試合経験も少ない。苦しい試合が続くと思います。まずは生懸命プレーするところを見てもらいたいです。

■競技の交流を刺激に
——今シーズンへの意気込みを聞かせてください。水戸 しっかり準備をして入れば、序盤に連敗した昨季のようなことにはならない。チャンピオンシップに出ることが目標です。横嶋 挑戦者なので登っていくしかない。試合を見に来た人がまた来たいと思うような戦いをしたいと思っています。水戸 昨年、カタレやサンダーバーズとのファン交流イベントに参加しましたが、他球団との交流は刺激にもなるし、ファンの拡大にもつながると思います。アランマーレも選手同士で応援し合

えたらよいですね。——互いにファンクラブの会員になるのもよいのでは。水戸 いいですね。やりましょう。横嶋 アランマーレの選手にはグラウジーズのファンが多いんですよ。是非、お願いします。——2020年に東京五輪があります。富山のアーリーナスポーツを盛り上げるためにも、地元から日本代表が育つてほしい。ペテランのおふたりにもチャレンジしてほしいと思います。いかがでしょうか。水戸 もう35歳ですから。一生懸命応援します(笑)。馬場雄大、八村塁と富山県出身の期待の選手がいます。彼らが代表として五輪で活躍してくれたら富山のバスケットは盛り上がる。横嶋 やり切つて一度は引退しているの……。今は自分のことよりも、チームのために力を尽くしたいの思いが強いんです。東京五輪はハンドボールをメジャーにする大きなチャンスです。ほかの競技からいろいろと学んで、もっと観客を呼べるスポーツに変えていきたいらいいと考えています。

よこしま・かおる 1985年12月11生まれ、31歳。富山市出身。堀川中、高岡向陵高を経て2004年、北國銀行に加入して12年間プレー。日本リーグ通算556得点、4回にわたり、ベスト7に輝くも、昨春引退。元日本代表。今春、現役復帰してアランマーレに加入。



富山のアーリーナを熱く!



水戸健史×横嶋かおる



今秋に開幕する富山のアーリーナスポーツに注目だ。富山グラウジーズがBリーグ2年目を迎え、ハンドボール女子日本リーグにプレステージ・インターナショナル「アランマーレ」が初出場する。両チームを引っ張る地元出身のエースが語り合った。

文 松井 克仁
写真 富山グラウジーズ、金森 正晃、若林 朋子

グラウジーズ 9・10月のホームゲーム

月	日	時	対戦相手	会場
9月	30日	18:05	北海道	富山市総合体育館
	1日	13:05		
	7日	18:05	西宮	県総合体育センター
10月	8日	13:05		
	21日	18:05	京都	県総合体育センター
	22日	13:05		

アランマーレ 9・10月のホームゲーム

月	日	時	対戦相手	会場
9月	10日	14:00	広島	小杉総合体育センター
	17日	15:00	北國銀行	富山市総合体育館
10月	29日	15:00	三重	水見市ふれあいスポーツセンター

(試合時間は変更になることもあります。詳細は富山グラウジーズ公式サイトで確認ください)

スポーツ伝言板

ここでは、県内の身近なスポーツの話題を紹介していきます！
あわせて皆様からの情報提供もお待ちしておりますので、詳しくは左ページ下記をご覧ください。

東京パラリンピック正式競技 車椅子バドミントンって知っていますか？

文・写真 アスリートビューティーアドバイザー
花田真寿美(富山市出身)

4月に発表された「埼玉からメダリストを育てよう」プロジェクト。埼玉県とゆかりのあるアスリートに対して、専門家による競技環境の整備と一般市民による応援・支援を組み合わせ「地域発・全員参加型応援プロジェクト」のことです。

私は、認定アスリートの外見、内面の「ビューティー」のサポートをする専門家として仲間入りをさせていただきました。日本中のアスリートたちを「ビューティー」の観点からサポート出来るようになりたいと考えています。

先日は、2020年東京パラリンピックから正式競技になる車椅子バドミントンで世界トップクラスの選手であり、プロジェクトの認定アスリートになった小倉理恵さんに会いに行ってきました。パラバドミントン競技は、脊髄損傷などの「車いす」と機能障がいなどの「立位」に分かれ、4カテゴリ、9クラスに分けられています。

私も初めて車椅子バドミントンを体験してみました。とてもハードでした。思うように車椅子を操作できず、シャトルに追いつけないのです。何度もひっくり返りそうになりました。小倉さんは、すごいスピードでシャトルを追いかけています。

小倉さんは、笑顔が素敵な二児のママです。小倉さんやパラバドミントンの魅力に触れていく中でテレビや雑誌を通して見るスポーツと、目の前で観戦することや、体験することは全く違うと実感し、すごく面白いと感じています。パラバドミントン。まずは動画で検索してみてください、それで興味を持ってもらえたら嬉しいです。



地元富山からカヌー競技で 東京五輪出場を目指す

水橋高校3年 浦田樹里

高校1年時から国体や高校総体で数々のタイトルを手にしてきた浦田樹里選手(水橋高3年)。「小学校2年生のとき、姉がカヌーをしているのを見て、自分もやりたくなくなって始めてみると面白くて楽しかった」と語る彼女は、今では2020年東京五輪カヌーシニアの代表選手候補として注目を集める存在に。今シーズンは全国高校総体2冠と中田舞絢選手(同高2年)と組んだカヤックペアでの国体3連覇を目標に掲げる。7月下旬にはルーマニアでの世界シニア選手権大会に出場。アジア選手権大会での優勝も見据える。



9月12日に魚津で 新日本プロレス魚津大会 「Road to DESTRUCTION」

新日本プロレス魚津大会「Road to DESTRUCTION」は9月12日(午後6時半(開場同5時半))から魚津市総合体育館で行われる。2年ぶりの魚津開催であり、プロレスファンをうならせる豪華顔ぶれ。熱い対戦にご期待を！
料金(前売り)はロイヤルシート1万円、特別リングサイド8千円、リングサイド6千円。
問い合わせ きとぎやエンジャー事務局
<http://kitokioranger.com>

富山のスポーツレベルアップへ プロ野球選手のトレーナーが 無料アドバイス開始！小学生対象



増山(左)トレーナーと二木投手

昨年からは千葉ロッテマリーンズ・二木康太投手のトレーナーを務めているますやま整体(富山市羽根)の増山耕三さん(37)が無料アドバイスをを行っている。

身体の構造上、どのような動きを行えば理想の動きが出来るのか、痛みが出なくなるのか、と言う選手の悩みを筋肉の観点から説明。その場で痛みの改善と動き易さが体感できる。

5月から始まった今回の企画では、競技を問わず数十名の小学生が来院。参加した子供は「動き易くなりフォームが良くなった」。父母からは「今まで、痛くなったら休んでの繰り返しでしたが、なぜ痛みが出たのかなどを分かりやすく説明していただき、今後どのようなストレッチやトレーニング行えばいいのかわかる事が出来て良かった」と高評価を得ている。

「本気で、治したい！上手くなりたい！と思う気持ちがあればいつでも相談に乗ります」と未来ある子供達に呼び掛けている。

増山さんは選手の育成にあたり、怪我を何とかしあげたいという気持ちで全体の道に入り、その後、独学で解剖学などを勉強し、一般の患者を改善してきた。今では県内外問わず、様々な競技のアスリートが増山さんのことを訪れている。

問い合わせ MVD有沢店 076-493-4444

野球人気を取り戻せ！ 幼児〜低学年用道具の貸し出しスタート

児童数の減少や様々なスポーツへの関心の高まりもあり、野球人口の減少は県内でもここ数年で起き始めている。そんな事態にストップをかけようと富山少年野球リーグの事務局がこの度、幼児から小学校低学年向けに開発された様々な野球道具を一式買い揃え、貸し出しのサービスを始めた。

柔らかいボールに的当て、ボールに当てやすいように作られた太いバットやボールを置いて打つことができるティースタンドなど、小さな子供でも投げる楽しみや打つ快感を十分に体感できるセットとなっている。今後は富山市内の幼稚園や保育所にもキャラバン隊を送り込み、普及活動にも乗り出す予定だ。

貸し出しの対象は主に富山市内の幼稚園・保育所(キャラバン隊同行)、富山少年野球リーグ加盟チーム。問い合わせは富山少年野球リーグ事務局(高見さん) 090-1316-7016まで



初の神宮で、NPB入りが目標 俊足好打の土田昂平外野手(中部大4年、南砺市出身)

愛知大学野球の春季リーグを制した中部大の1番バッターとして活躍しているのが、土田昂平外野手だ。砺波工業高校時代から足の速さとセンスのあるバッティングでプロのスカウトの注目を集めていた土田だが、大学に入ってから1年の夏の左手首を骨折するなどケガにも悩まされ、3年までは思うような成績を残せずにいた。

4年の春になって打撃フォームを、足を上げるスタイルからすり足に変えて確実性が増した。11試合の出場で打率4割5厘を残し、首位打者こそ逃したが初めてベストナインに選ばれた。6月には全日本大学野球選手権(神宮)にも初めて出場。2回戦で国際武道大の投手と対戦した時に全国のレベルの高さを実感し、NPBに入りたいとの気持ちが強くなったという。

土田は「育成でもいので、ドラフトにかかればプロにいきたい」と話す。大学最後の秋のリーグ戦では首位打者とMVPを獲って、プロのスカウトにアピールしたいと意気込む。

つちだ こうへい 南砺市出身、21歳。井波野球スポーツ少年団一井波中一砺波工業高一中部大。小学3年から野球をはじめ、高校通算15本塁打、大学では1年から試合に出場、俊足好打の外野手。



県内のスポーツ情報をお待ちしております

富山発のスポーツメディア

Truth

Find us on Facebook

https://www.facebook.com/aso.truth

アスポとやま



「Truth」秋号掲載ニュースの締め切りは2017年9月末
.....
原稿・写真・画像は左記メールアドレスまで、よろしくお願ひします。なお、体裁に合せたリライトは編集部でさせていただきます、ゲラチェックはありません。
・アスポとやまメール
risenen@tspotoyama.com

Tスポとやま 2017年度賛助会員の皆様(同年7月15日現在)

【法人会員】

小笠原製作所、荒井学園、東亜電工、富山機械工業センター、クラブJoy、山崎機工、富山技販、ユニゾーン、内山精工、日伸精機、津根精機、澤田製作所、岡崎工機、伸栄商会、パレススポーツクラブ、ライブリッジ、高岡スポーツユナイテッド、北陸機材、KANAYA、五省会西能病院、ヤマヒデホーム、JUMP MARUYAMA、北陸パロン美装、前川歯科クリニック、まちづくりとやま、藤田内科クリニック、ホテルよし原、潤観光開発、常願寺川公園スポーツクラブ、バイエルンスポーツ、ジャストドゥイット、カターレ富山をサポートする会、すき焼はやし、富山ベースボールクラブ、高岡金網、MIYAHARA GYM、千山道場、富山県総合警備保障
(順不同)

【個人会員】

尾畑達彦、尾畑美奈、sanwaytoway、新田八朗、鶴殿裕、山形英明、江川正光、塚田三四治、河崎克彦、竹田克史、田村勉、田村恵子、北井誠、松下和磨、西田真、登坂修、野沢紀子、牧内直哉、木内岳夫、高岡茂樹、大辻保、横嶋好子、小竹秀忠、福井良、成田光雄、中田憲昭、松島公裕、小沼憲子、西野由香、小山孝義、南雲公子、面谷太志、伊東与二、谷崎文保、大家芳夫、大鋸谷孝志、嶋田利隆、松本裕典、笹木忠、若林良、高森勇、田中一郎、清田義之、澤田利浩、東軒一虎、松本壽夫、加藤進也、南部政樹、夏野義一、吉田義夫、河合常晴、Fight絢恵!、沼田秀樹
(敬称略、順不同)

【編集後記】

・競技のコラボで相乗効果を! 8月19日、富山市サッカー協会などが主催するとやまPK選手権の会場(県総合運動公園)でアメリカンフットボールを体験するイベントが開催される。きっかけはともにフットボールであること。つながることで新たなスポーツの可能性を引き出すチャレンジに期待したい(松井)

・サッカー天皇杯のカターレメグロ対ヴィッセル神戸戦を取材に神戸市へ。選手入場時に神戸サポーターが歌い上げる「神戸讃歌」を聞いた。1995年の震災を機に生まれたこの歌は「ともに傷つき」「ともに立ち上がり」「これからもずっと歩いていこう」と続く。当時被災地近くに住んでいた者として感慨深かった(赤壁)

・富山GRNサンダーバズの吉岡雄二監督にお話を伺った時、テレビ番組の収録についての話になった。恒例の『野球盤』だ。毎回大活躍の監督だが、自分に求められている役割を心得ている。前期のチームがそうだったように、監督も自ら体現してくれた。優勝時の胸上げのシーンが映った時、どれだけの富山県人が笑顔になっただろうか。私もその1人(笑)(土田)

・全日本実業柔道団体対抗大会の取材では田知本愛・遥姉妹から貴重なコメントをいただくことができました。ありがとうございます。もう一つの成果は、バルセロナ五輪金メダリストである吉田秀彦選手兼監督(パーク24)の試合を拝見できたこと。技のキレ味は健在でした!(若林)

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営

TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com

HP : <http://tspotoyama.com/>

Facebook : <https://www.facebook.com/tspo.truth>

顧問: 田中一郎

STAFF: 赤壁逸朗/金森正晃/久留健太郎/小林永/坂野上満/谷尚人/土田由香里/中沖紘一/永森茂/松井克仁/若林朋子

DESIGN: TIME PLANNING JAPAN 株式会社

誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても きっと負けない

スポーツは、自分を超越するためにある。

スポーツくじ



スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。